

1、学会発表・講演会

- (1) 「SLC5A5 新規バリエント (Q263L/G350D) による先天性甲状腺機能低下症の兄弟例」
阿部清美、小泉美紀子、小飼貴彦、位田忍、杉澤千穂、川井正信、長谷川奉延、鳴海覚志 (第 40 回甲状腺病態生理研究会、2025 年 2 月 22、東京)
- (2) 「マウスモデルによる新規 PAX8 G56S バリエントの時間依存的な甲状腺表現型推移の検討」
阿部清美、西岡淳子、小田野めぐみ、岩野麗子、室谷浩二、藏本純子、金井弥栄、秋葉和壽、高田修治、寺尾美穂、石井智弘、鳴海覚志、長谷川奉延 (第 57 回日本小児内分泌学会学術集会、2024 年 10 月 10 日～12 日、横浜)
- (3) 「Year Book 5 甲状腺」
阿部清美 (第 57 回日本小児内分泌学会学術集会、2024 年 10 月 10 日～2025 年 1 月 19 日、オンデマンド配信)
- (4) 「TSHR 細胞外ドメインのバリエントによる非自己免疫性甲状腺機能亢進症の一家系」
志村和浩、市橋洋輔、阿部清美、鳴海覚志、石井智弘、長谷川奉延 (第 57 回日本小児内分泌学会学術集会、2024 年 10 月 10 日～12 日、横浜)
- (5) 「DUOX2 異常症による先天性甲状腺機能低下症患者の内服中止時期と遺伝子型の関連の検討」
上原絵理香、阿部清美、中尾佳奈子、服部淳、松原圭子、深見真紀、鳴海覚志、室谷浩二 (第 57 回日本小児内分泌学会学術集会、2024 年 10 月 10 日～12 日、横浜)
- (6) 「4 世代にわたり特異的甲状腺表現型を示した家系とその病因 PAX8 新規バリエント G56S の多階層的機能解析」
阿部清美、西岡淳子、小田野めぐみ、岩野麗子、室谷浩二、藏本純子、金井弥栄、秋葉和壽、高田修治、寺尾美穂、石井智弘、鳴海覚志、長谷川奉延 (第 97 回日本内分泌学会学術総会、2024 年 6 月 6 日～8 日、横浜)
- (7) 「臨床重要課題 若年者バセドウ病の MMI 単独治療、MMI+KI 併用治療の有効性と安全性に関する多施設共同観察研究 (後ろ向きコホート研究) の現状報告」
大江秀美、南谷幹史、宇野希世子、上妻佳代子、荒田尚子、長谷川奉延、鳴海覚志、伊藤順庸、猪股弘明、内野真也、鬼形和道、佐藤浩一、溝上哲也、長崎啓祐、阿部清美、原田正平、深田修司、久門真子、萱野大樹、横谷進、吉村弘、金城さおり、春名英典、松下理恵、宮田市郎、三善陽子、虫本雄一、堀川玲子、室谷浩二 (第 67 回日本甲状腺学会、2024 年 10 月 3 日～5 日、横浜)
- (8) 「TSH 受容体細胞外領域バリエントによる非自己免疫性甲状腺機能亢進症」
志村和浩、市橋洋輔、阿部清美、鳴海覚志、石井智弘、長谷川奉延 (第 67 回日本甲状腺学会、2024 年 10 月 3 日～5 日、横浜)
- (9) 「夏に注意したい子どもの感染症と健康リスク」

藤野元子（夏場の感染症講習会、2024年6月13日、みなと保健所）

(10) 「現行プログラムによる百日咳ワクチンの有効性：多施設共同・症例対照研究」

大藤 さとこ 1)、三原 由佳 2)、木実谷 貴久 3)、宮田 章子 3)、藤野 元子 4)、本村 知華子 5)、中村 英夫 6)、戸田 壮一郎 7)、伊東 宏明 7)、河村 吉紀 8)、吉川 哲史 8)、田中 孝明 9)、中野 貴司 9)、岡田 賢司 10) 1) 大阪公立大学大学院 医学研究科 公衆衛生学、2) 刈谷豊田総合病院 小児科、3) さいわいこどもクリニック、4) 東京都済生会中央病院 小児科、5) 国立病院機構福岡病院 小児科、6) 中村小児科医院、7) 亀田総合病院 小児科、8) 藤田医科大学 医学部 小児科学、9) 川崎医科大学総合医療センター 小児科、10) 福岡看護大学 基礎・基礎看護部門

(第28回日本ワクチン外来・第65回日本臨床ウイルス学会、2024年10月27日、愛知)

(11) 「日本人若年発症原発性アルドステロン症の遺伝学的・臨床的特徴」

内田登、石井智弘、西本紘嗣郎、小原收、鳴海覚志、長谷川奉延（第97回日本内分泌学会学術総会、2024年5月6日、横浜）

(12) 「*FGFR1* 新規ミスセンスバリエントを有し、全前脳胞症と Kallmann 症候群を併せ持つ1例」

内田登、水野裕介、高橋努、柴田浩憲、鳴海覚志、石井智弘、長谷川奉延（第57回日本小児内分泌学会学術集会、2024年10月10日～12日、横浜）

(13) 「6q24 関連新生児一過性糖尿病の遺伝学的原因別長期臨床経過」

中村紗佑里、森潤、浦川立貴、樋口真司、加藤歩、松田史佳、糸永知代、青木政子、内田登、堀川玲子、石黒精、深見真紀、鏡雅代（第57回日本小児内分泌学会学術集会、2024年10月10日～12日、横浜）

(14) 「電気化学発光免疫測定法によるエストラジオール（E2）測定のピットフォール：E2 偽高値を呈した早発乳房の一例」

蜂屋瑠見、古澤恭平、柴田浩憲、内田登、佐々木悟郎、福島裕之、石井智弘、長谷川奉延（第57回日本小児内分泌学会学術集会、2024年10月10日～12日、横浜）

(15) 「「うちの家族、コレステロール高いけど大丈夫？」家族性高コレステロール血症(FH)のお話」

内田登（JKK 東京健康セミナー、2024年12月4日、中央区）

(16) 「小児科医師による小児救急処置講座」（東麻布保育園講演会、2025年1月18日、港区）

内田登

講師

(1) 「一歩進んだ先天性甲状腺機能低下症の診断と治療」

阿部清美（第29回小児内分泌専門セミナー 講師 2024年8月16日～18日、名古屋/オンデマンド配信）

(2) 第51回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ タスクフォース

阿部清美 他 (2024 年 7 月 27 日～28 日, セミナーハウス クロス・ウェーブ梅田, 主催 大阪府済生会 茨木病院)

(3) 第 52 回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ タスクフォース

阿部清美 他 (2024 年 11 月 30 日～12 月 1 日, セミナーハウス クロス・ウェーブ幕張, 主催 静岡済生会総合病院)

(4) 福岡県立修猷館高校 キャリアセミナー「臨床も研究も教育も！～いつでもどこでもキャリアアップ」

阿部清美 (現役高校生へのキャリアセミナー講師)、2024 年 5 月 24 日 福岡市 福岡県立修猷館高校

<受賞> 第 25 回 2024 年度 日本内分泌学会若手研究奨励賞(YIA) (2024 年 6 月 8 日、第 97 回日本内分泌会 学術総会、横浜)

<受賞講演> 「特異な甲状腺表現型を示した PAX8 G56S バリエントの多階層的解析：in vitro および in vivo 複合アプローチによる検討」(コスミック研究創成賞 (2024 年度優秀賞))

阿部清美 (第 67 回日本甲状腺学会、2024 年 10 月 3 日～5 日、横浜)

2、論文発表・著書

(1) Two Novel SLC5A5 variants (Q263L and G350D) Causing Congenital Hypothyroidism

Abe K, Koizumi M, Kogai T, Ida S, Sugisawa C, Kawai M, Hasegawa T, and Narumi S., Thyroid. 2025 Mar;35(3):335-337. doi: 10.1089/thy.2024.0716

(2) Familial Non-autoimmune Hyperthyroidism Caused by an Extracellular Domain Variant (p.Leu267Phe) of the TSH Receptor

Shimura K, Ichihashi Y, Abe K, Ishii T, Hasegawa T, and Narumi S., Horm Res Paediatr. 2025 Feb 21:1-17. doi: 10.1159/000544836

(3) Molecular and Clinical Features of Congenital Hypothyroidism Due to Multiple DUOX2 Variants

Uehara E, *Abe K, Tanase-Nakao K, Muroya K, Hattori A, Matsubara K, *Fukami M, Narumi S. Thyroid. 2024 Jul;34(7):827-836. doi: 10.1089/thy.2024.0046 (*共同責任著者)

(4) Functional variants in a TTTG microsatellite on 15q26.1 cause familial nonautoimmune thyroid abnormalities.

Narumi S, Nagasaki K, Kiriya M, Uehara E, Akiba K, Tanase-Nakao K, Shimura K, Abe K, Sugisawa C, Ishii T, Miyako K, Hasegawa Y, Maruo Y, Muroya K, Watanabe N, Nishihara E, Ito Y, Kogai T, Kameyama K, Nakabayashi K, Hata K, Fukami M, Shima H, Kikuchi A, Takayama J, Tamiya G, Hasegawa T. Nat Genet. 2024 May;56(5):869-876. doi: 10.1038/s41588-024-01735-5

(5) 小児内科 2024 年 56 巻 増刊号 共編 『小児内科』『小児外科』編集委員会、分担執筆 阿部清美 他、分担部 内分泌・代謝検査 2. 甲状腺・副甲状腺機能検査・骨代謝, TSH, T3, T4, FT3, FT4, TBG, サイログロブリン (Tg), P437-441,, 発行 2024 年 10 月

- (6) Cellular and humoral immune responses to COVID-19 booster vaccination in Japanese dialysis patients.
Yoshifuji A, Toda M, Oyama E, Nakayama T, Mise-Omata S, Kikuchi K, Yoshizawa M, Kato N, Wakai H, Koibuchi K, Morimoto K, Uwamino Y, Namkoong H, Shibata A, Wakabayashi K, Fujino M, Komatsu M, Mochizuki N, Kondo N, Yoshimura A, Hasegawa N, Ryuzaki M. Clin Exp Nephrol. 2024 Jul;28(7):674-682. doi: 10.1007/s10157-024-02477-8. Epub 2024 Mar 8. PMID: 38457030
- (7) Pitfalls in estradiol measurement by electrochemiluminescence immunoassay: A case study of a prepubertal girl with a falsely elevated serum estradiol level
Kyohei Furusawa, Rumi Hachiya, Hironori Shibata, Noboru Uchida, Goro Sasaki, Hiroyuki Fukushima, Tomohiro Ishii, Tomonobu Hasegawa. Clin Pediatr Endocrinol 2024;33:35
- (8) *Znrf3* exon 2 deletion mice do not recapitulate congenital adrenal hypoplasia
Noboru Uchida, Tomohiro Ishii, Naoko Amano, Shuji Takada, Kyoko Kobayashi, Tomoaki Murakami, Satoshi Narumi, Tomonobu Hasegawa. J Mol Endocrinol 2024;73:e240015

3、TV・ラジオ出演等

なし

4、学会・研究活動

<藤野元子>

日本小児科学会 小児科専門医、代議員

日本小児科学会東京都地方会 幹事

日本小児感染症学会 代議員

初期臨床研修指導医

<阿部清美>

競争的研究費

2024 年度 基盤研究(C) 24K11052 (継続)

研究課題名：PAX8 G56S 変異甲状腺機能低下マウスを用いた濾胞形成不全と甲状腺腫発生機序の解明

日本小児科学会；小児科専門医・指導医

日本内分泌学会；内分泌（小児科）専門医・指導医・評議員、JES We Can（男女共同参画推進委員会）

関東甲信越支部委員、日本内分泌学会関東甲信越支部事務局支部事務局長

日本小児内分泌学会；専門医・指導医・評議員、卒後教育委員会委員、内分泌代謝科専門医委員会委員
用語委員会委員、甲状腺委員会委員

日本甲状腺学会；評議員、小児甲状腺疾患診療委員会委員、臨床重要課題「甲状腺ホルモン合成障害診断ガイドライン作成」委員会委員、Women in Thyroidology of Japan (J-WIT) 委員会委員

日本人類遺伝学会；臨床遺伝専門医

初期臨床研修指導医

<内田登>

日本小児科学会 小児科専門医・指導医
日本内分泌学会 内分泌代謝科（小児科）専門医・指導医
日本小児内分泌学会 評議員
日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医
初期臨床研修指導医

<吉田沙智恵>

日本小児科学会 小児科専門医
日本小児科医会認定こころの相談医
NCPR インストラクター（日本周産期・新生児蘇生法普及事業）